



豪雪にもみんなで協力して立ち向かおう 町内各地で一斉除排雪活動

1月24日と2月7日に、一人暮らしの高齢者宅などを対象とした一斉除排雪活動（美郷町社会福祉協議会主催）が行われました。

24日には美郷中学生、六郷高校生、ボランティア、町職員など合わせて約490名が参加しました。同協議会職員から作業上の注意点について説明を受けた参加者は千畑、六郷、仙南の3地区に分かれて除排雪作業を開始。住宅の玄関周りや軒下に積った雪をスコップやスノーダンプできれいに取り払いました。除雪を依頼した高齢者は「今年もあまりの豪雪で家から出るのも大変だった。若い方々にも頑張ってもらってありがたい」と話していました。

ご長寿おめでとございます 湯川ミヨさんが満100歳に

1月27日に満100歳の誕生日を迎えた湯川ミヨさんのもとを松田町長が訪れ、長寿祝い金を贈呈しました。松田町長が「100歳になられてもとてもお元気に過ごされていてうらやましい。ご長寿の秘訣などはありますか」と尋ねると、湯川さんは「自分でできることは何でもすることかな。なにより周囲のみんなのおかげです。次は200歳での長寿祝い金を目指したい」と笑顔で話してくれました。湯川さんはここ数年大きな病気をしたことがなく、洗濯などの身の回りのことも自分でやっているそうです。これからもお体に気を付けて、ご長寿を重ねてください。



威勢よく、色鮮やかに 金澤八幡宮ぼんでん奉納

2月18日に金澤八幡宮（横手市）でぼんでん奉納が行われ、美郷町からは前郷・森先地区と石神地区の男衆が参加しました。前郷・森先地区は芭蕉（ばしょう）、石神地区は干支のへびをかたどったぼんでんを奉納するため、金澤八幡宮の鳥居前で他地区の男衆と先陣争いを繰り広げ、その後、雪の坂道を駆け上がってぼんでんを奉納し、一年の五穀豊穡と家内安全を祈願しました。

首都圏でのPR方法について学びました ふるさと大使との懇談会

2月15日に、町の「ふるさと大使」を務める近藤和幸さんによる懇談会が南ふれあい館で開催されました。近藤さんは、自信が経営する東京都大田区の温泉で仁手古サイダーや漬物などの町の特産品を積極的に取り扱っていたことから、平成22年に美郷町の観光資源や物産を広く情報発信する「ふるさと大使」に任命されています。

懇談会には、松田町長や商工会、観光協会のほか、農業、商業の関係者など16名が参加。近藤さんが首都圏での消費者の動向や商品の売れ筋について紹介したほか、参加者を交えて美郷町の観光PR方法などについて話し合いました。



国際教養大学の学生が参加しました 人材育成セミナー

2月18日に人材育成セミナーが開催され、国際教養大学の学生8名が町内企業や役場庁舎を訪れて働くことについての学びを深めました。このセミナーは、学生に働く意義や情熱を感じてもらおうとともに、受け手側の団体にも人材育成の原点を再確認してもらおうと、美郷人材交流セミナー（齊藤伸英代表）が主催しています。講師の一人を務めたブラボー中谷さんは、「遅咲きのプロマジシャンだが、約20年も続けていると海外のショーに出演することもできた。どんな職種にもやりがいはある。情熱を持って楽しく仕事をしてほしい」と学生にエールを送りました。各会場で講義を受けた学生たちは、相次いで質問を繰り返すなど、働く現場での声を熱心に聞き入っていました。



第1回 町議会議 臨時会



平成25年第1回町議会議臨時会が1月29日に開かれました。可決された議案の概要は次のとおりです。

可決された案件

■平成24年度美郷町一般会計補正予算第10号

豪雪の影響により、道路除排雪作業に要する経費や公共施設の除排雪に要する経費など歳入歳出に1億2086万円を追加し、予算総額を118億2942万4千円としました。

■平成25年度予算・地方財政対策及び税制改正 についての意見書

特色をもう一つ

美郷町長 松田知己

風



社団法人東京生薬協会等との連携協定締結式であいさつを述べる松田町長

多くの方とお会いして話をする私は、たくさん名刺も頂戴いたします。年度の終わりになると名刺の整頓をするよう心がけていますが、名刺を眺めて、顔はもちろん会話内容も思い出す方もいらっしゃるでしょう、残念ながらそうでない方がいらっしゃるのも事実。実は私自身も、お会いした方なのに「初めまして」と言われたことは何回も経験していますし、その逆パターンもありまして、失礼申し上げたこ

とも多々あります・・・。

覚えていない、覚えていないその違いは何かを改めて考えてみると、それはお会いした際に印象深さがあったかどうかだったように思います。言い換えると出会いに何か特色を感じたか否かということですが、改めて特色の大切さを実感するところです。そしてこのことはきっと地域も同じで、訪れた地域の記憶が残るかどうかは、地域の特色の濃淡だろうと思うところです。

では「美郷町の特色」はどうかと言え、申すまでもなくたくさんあって、決して「薄くない存在」と思いますが、この度、さらにもう一つの特色が追加されました。かねてより品種登録申請してありました白色ラ

ベンダー「美郷雪華」が先月品種登録され、美郷町の品種として確定しました。農業試験場を持たない市町村で品種を持つことは稀と伺っております。従って、これは立派な美郷町の特色の一つです。今後、美郷特有の品種として町ラベンダー園でPRしてまいります。また、美郷雪華を活用した特産品開発の可能性もあります。さらに、国内のラベンダー園にも美郷町の品種としてPRしてまいります。その結果、いつの日か県外のラベンダー園でも「美郷雪華」の名前を目にする日が来るかもしれません。期待が膨らむところです。

私は大学で植物育種を専攻し、品種育成の大変さや品種を持つ意義は分かっているつもりです。ですので、今回の品種登録は本当に嬉しく思います。改めて、突然変異の株を守ってきえてくれた栽培管理の皆さんと、品種登録に指導いただいた農農業試験場の佐藤孝夫さんに心から感謝いたします。